

大矢繁夫名誉教授 略歴

(生年月日)

1948年12月17日

(学歴)

1972年 3月 小樽商科大学商学部卒業

1975年 3月 東北大学大学院経済学研究科修士課程修了

1978年 3月 東北大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学

(学位)

2001年10月 博士（経済学 東北大学）

(職歴)

1978年 4月－1980年 3月 東北大学経済学部助手

1981年 4月－1987年 3月 西南学院大学商学部助教授

1987年 4月－1995年 3月 西南学院大学商学部教授

1995年 4月－2008年 3月 小樽商科大学商学部教授

1997年 4月－1998年 3月 小樽商科大学商学部商学科長

2004年 4月－2008年 3月 小樽商科大学大学院商学研究科現代商学専攻長

2008年 4月－2014年 3月 小樽商科大学理事（教育担当副学長）

2014年 4月－2016年 3月 小樽商科大学理事（総務・財務担当副学長）

(所属学会)

日本金融学会（2000年－2008年理事）

日本信用理論研究学会（1996年－2013年理事）

大矢繁夫名誉教授 研究業績

著書

『ドイツ・ユニバーサルバンキングの展開』北海道大学図書刊行会, 2001年
2月

共編著

信用理論研究会編『現代金融と信用理論』大月書店, 2006年1月

分担執筆

1. 酒井一夫・西村閑也編著『比較金融史研究』第4章「ドイツの銀行の証券信用業務」ミネルヴァ書房, 1992年4月
2. 村岡俊三・佐々木隆生編著『構造変化と世界経済』第6章「ドイツの金融自由化・金融国際化」藤原書店, 1993年5月
3. 西日本金融制度研究会・西日本銀行『西日本銀行五十年史』第1篇第3章「西日本銀行の誕生と最近10年の発展」西日本銀行, 1995年3月
4. 北海道銀行『北海道銀行六十年史』第Ⅱ部第1章第1節「バブル経済の生成と発展」, 第2章第1節「不良債権問題と金融システムの危機」, 第3章第1節「実感なき『回復』から混乱と停滞へ」北海道銀行, 2011年11月

論文

1. 「ヒルファディングの金融資本理論についての一考察」東北大学『研究年報 経済学』38巻4号, 1977年3月
2. 「相対的安定期におけるドイツ金融資本の発展について」東北大学『研究年報 経済学』42巻1号, 1980年6月
3. 「相対的安定期におけるドイツの外資依存——通貨・金融面における外資依存について——」東北大学『研究年報 経済学』43巻1号, 1981年5月

4. 「1920年代におけるドイツの金融市場」西南学院大学『商学論集』29巻3／4合併号, 1983年3月
5. 「通貨安定後のドイツにおける貨幣市場と証券信用」西南学院大学『商学論集』31巻1号, 1984年6月
6. 「西独銀行の対外進出とルクセンブルグ金融市場」西南学院大学『商学論集』31巻3号, 1984年12月
7. 「『金融資本』をめぐる1つの理論問題——金融資本と擬制資本・証券市場に関する研究(1)——」西南学院大学『商学論集』32巻2号, 1985年9月
8. 「擬制資本・証券市場と信用——金融資本と擬制資本・証券市場に関する研究(2)——」西南学院大学『商学論集』32巻3号, 1985年12月
9. 「西独銀行の対外進出の方向——『銀行クラブ』からルクセンブルグ所在子銀行へ——」日本証券経済研究所『証券経済』155号, 1986年3月
10. 「銀行の発行活動に関するノート」西南学院大学『商学論集』33巻1号, 1986年7月
11. 「ドイツにおける銀行集中運動——1920年代を中心に——」西南学院大学『商学論集』33巻2号, 1986年10月
12. 「西独銀行と金融再規制」西南学院大学『商学論集』35巻2号, 1988年11月
13. 「第1次大戦前におけるドイツの銀行の国際業務」西南学院大学『商学論集』35巻4号, 1989年3月
14. 「第1次大戦前ドイツの銀行の証券信用について」西南学院大学『商学論集』36巻3／4合併号, 1990年3月
15. 「証券金融システムの意義」西南学院大学『商学論集』39巻3／4合併号, 1993年3月
16. 「1920年代におけるドイツの金融システムと銀行恐慌」信用理論研究会『信用理論研究』10号, 1993年5月
17. 「為替清算システム・『マルク決済圏』とドイツの銀行」東北大学『研究年報 経済学』55巻4号, 1994年1月

18. 「ドイツ・ユニバーサルバンクの株式市場へ関わる位置と能力——1990年代の構図——」小樽商科大学『商学討究』50巻1号, 1999年7月
19. 「銀行システムと信託支持——ドイツにおける預金保護と銀行監督——」会計検査院『会計検査研究』26号, 2002年9月
20. 「ドイツ金融システムの1特徴——商業銀行機能と信託支持を中心に——」信用理論研究学会『信用理論研究』21号, 2003年7月
21. 「ドイツ金融システム変貌とリスク管理」慶應義塾大学『三田商学研究』49巻6号, 2007年1月
22. 「ドイツにおけるキャッシュレス・ペイメント, 信用創造と銀行資産の『架空』性」北海道大学『経済学研究』58巻3号, 2008年12月

その他

1. (学会報告論文)「1920年代のドイツ金融市場の機能」『証券経済学会年報』第18号, 1983年5月
2. (翻訳(楯岡重行氏との共訳))「オズワルト・ハーン『発券銀行の独立性』」『福岡大学商学論叢』28巻3号, 1984年1月
3. (学会報告論文)「金融資本と擬制資本・証券市場」『証券経済学会年報』21号, 1986年5月
4. (辞典)『最新金融用語辞典』経済法令研究会, 「コンソーシアム銀行」等4項目執筆, 1989年1月
5. (学会報告論文)「西独における金融規制・再規制と銀行」『証券経済学会年報』24号, 1989年7月
6. (学会報告論文)「独銀の国際業務と金融市場」『証券経済学会年報』26号, 1991年5月
7. (書評)赤川元章著『ドイツ金融資本と世界市場』日本証券経済研究所『証券経済』193号, 1995年9月
8. (書評)嶋崎久弥著『大欧州圏の形成——EUとその拡大』日本金融学会『金融経済研究』11/12合併号, 1997年3月

9. (商業誌寄稿)「押し寄せるアジア金融不安の波 中小企業には厳しい環境に」『月刊 北海道』, 1998年1月
10. (商業誌寄稿)「地方優良企業発掘が札証新市場の使命だ」『クオリティ』, 2000年1月
11. (書評) 居城弘著『ドイツ金融史研究』日本金融学会『金融経済研究』18号, 2002年3月
12. (辞典)『大月金融辞典』大月書店, 「貨幣証券」等8項目執筆, 2002年4月

score methods. Ogasawara, H., The 22nd International Conference on Computational Statistics, Oviedo, Spain. 2016年8月

Asymptotic cumulants of ability estimators using fallible item parameters. Ogasawara, H., The 31st International Congress of Psychology (the 80th annual meeting of the Japanese Psychological Association), Yokohama, Japan. 2016年7月

Estimation of ability with reduced asymptotic mean square error. Ogasawara, H., The 2016 International Meeting of the Psychometric Society, Asheville, NC, USA. 2016年7月

片 桐 由 喜 : 公的年金制度と女性—中立, 公正な制度設計に向け—片桐由喜, 亜細亜女性法学会, 2016年10月31日 公的医療保険の保障原理—韓国混合診療制度からの示唆—片桐由喜, 日本社会保障法学会, 2016年10月17日

北 川 泰治郎 : 激変する経営環境と経営戦略 —CSV経営のすすめ—北川泰治郎, ほくよう調査レポート, 240, 2016年7月
地域企業との連携 北川泰治郎 平成28年度産学連携サービス経営人材育成事業中間報告会 2016年10月28日
台湾市場の分析と北海道ブランドを通じた戦略展開 北川泰治郎, 日本経営診断学会北海道部会 第43回研究会, 2016年9月23日

Development of training program for personnel to work for The Integrated Community Care System 李濟民, 北川泰治郎, 田村こずえ, サービス学会 サービス学に関する国際会議 2016年9月7日

木 村 泰 知 : Prototyping Radiobots - Automatic Radio Talks Generator Considering Live Feedback Rafal Rzepka, Yasutomo

- した」を対象として～ 乙武北斗, 内田ゆず, 高丸圭一, 木村泰知, 第32回ファジィシステムシンポジウム, 2016年8月
- 國武英生: 農業と労働法—農業就業者の労働法の適用と労基法の適用除外に着目して 國武英生, 日本労働研究雑誌, (675) 69-77, 2016年9月
- 小泉大城: On the Approximate Maximum Likelihood Estimation in Stochastic Model of SQL Injection Attacks Michio Sonoda, Takeshi Matsuda, and Daiki Koizumi, Proc. of 2016 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2016), 2016年10月, 査読有り
- Method for Combining Paraconsistency and Probability in Temporal Reasoning Norihiro Kamide and Daiki Koizumi, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol. 20, (No.5) pp. 813-827, 2016年9月, 査読有り
- パラメータが確率的に非定常変化する場合のベイズ的予測アルゴリズムとその応用 小泉大城, 電子情報通信学会北海道支部 平成28年度専門講習会 (於 北見工業大学), 2016年10月21日, 招待有り
- 後藤英之: 「6次産業化企業の経営診断～北海道ニセコ町における酪農業の6次産業化事例研究～」日本経営診断学会第49回全国大会報告, 2016.10. 8, 愛知工業大学 日本経営診断学会第49回全国大会「中小企業診断協会会長賞」
- 齋藤健一郎: フランス法における既得権の理論—法律の時間的適用範囲に関する古典的理論をめぐって 齋藤健一郎, 行政法研究, (15) 31-145, 2016年8月
- フランス行政法における経過措置の判例法理—2006年コンセイユ・デタKPMG社判決をめぐって 齋藤健一郎, 北海道大